

- 修繕事業採択の客観性・公平性を確保するため、施設マネジメント委員会で事業の「評価基準」を策定
- 継続的な施設点検・評価と計画的な修繕の遂行のため、3年周期で全学の施設の点検を実施し、点検結果を「カルテ」化のうえ、学内関係部局に開示
- 各年度の修繕事業を「評価基準」と「カルテ」により採択し、計画的に実施

●継続的な施設点検・評価の推進（シームレスマネジメント） ●学内事業の評価

・施設点検の概念図

・施設のカルテの例（内部便所）

部位	点検項目	点検標準	点検結果	備考
床	ひび割れ、汚れ、剥離、浮き、腐食、膨らみ、変色などがない	標準	標準	上塗り済
壁	ひび割れ、汚れ、剥離、浮き、腐食、膨らみ、変色などがない	標準	標準	標準
天井	ひび割れ、汚れ、剥離、浮き、腐食、膨らみ、変色などがない	標準	標準	天井付
天井裏	虫、鼠、ねずみ、さび及び腐食などがない	標準	標準	
換気	騒音、振動などがない	標準	標準	
照明	騒音、振動などがない	標準	標準	
臭気	有、無	標準	標準	
その他				

学内事業の評価

評価基準	評価項目	評価
		a b
1 危険度	現状の施設環境を技術的に見て、人的危険度があるか	高い 低い
2 法令等からの必要性	・ 消防法 ・ 労働安全衛生法 ・ 水質汚濁防止法等環境法令等 ・ 建築基準法 ・ その他施設関連法令等	ある -
3 上記以外の緊急性・必要性	・ 社会ルールに対する大学としての責任性 ・ 施設点検評価結果の整合性	高い 低い
4 老朽・劣化度		高い 低い
5 部局要求順位		

第1段階 1. 平成16年度に実施済のもの
2. 平成17年度施設整備費補助金対象事業
3. 基本的に部局配分経費が妥当と思われるもの
4. 施設整備事業が妥当なもの
上記4項目に該当するものについて除く

第2段階 評価基準の中で全ての項目がbに該当するものについて除く

第3段階 評価基準の中で重要度が高いと考えられる1-3の項目がbに該当するものについて除く

第4段階 1. 各部局ごとの最上位以外のものを除く
2. 又要求順位が上位のものが選別されているものは残された事業の最上位のものを選択する

上記選別の結果、選択された事業

現状調査に基づく環境改善計画の作成と年次計画による事業の実施【愛媛大学】

- 年度ごとにテーマを絞ったキャンパス環境の現状調査を実施
- 現状調査に基づく環境改善計画とハザードマップを作成し、役員会へ提言
- 継続的な環境改善予算を確保し、老朽トイレ改修や屋上防水更新等を実施中

危険部位及びトイレ改修計画総表【主要4団地：16年度調査・点検分】(案)

改修部位	改修経費(概算)	年次計画(案)							
		16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
屋上防水	630,745	0	48,685	53,700	51,480	49,570	49,070	53,120	54,130
外構・工作物	114,133	0	36,736	28,934	48,463	0	0	0	0
トイレ	393,150	40,000	41,250	45,300	48,600	47,300	59,000	56,000	55,700
合計	1,138,028	40,000	126,671	127,934	148,543	96,870	108,070	109,120	109,830

トイレ改修年次計画表(案)

トイレ改修建物名称	緊急度	改修経費	年次計画(参考)				
			初年度	次年度	3年目	4年目	5年目
教育学部2号館	1	30,000		30,000			
工学部講義棟	1	11,250		11,250			
附属中学校本館	1	4,000		4,000			
共通教育管理棟	1	施設全体改修に合わせて改修					
農学部本館	1	施設全体改修に合わせて改修					
教育学部本館	2	30,800					30,800
工学部2号館	2	37,200					37,200
城北団地F-ル更衣室	2	6,600				6,600	
医学部本館	3	76,800					
医学部体育館	3	6,600					
合計(30棟)		393,150	40,000	41,250	45,300	48,600	47,300